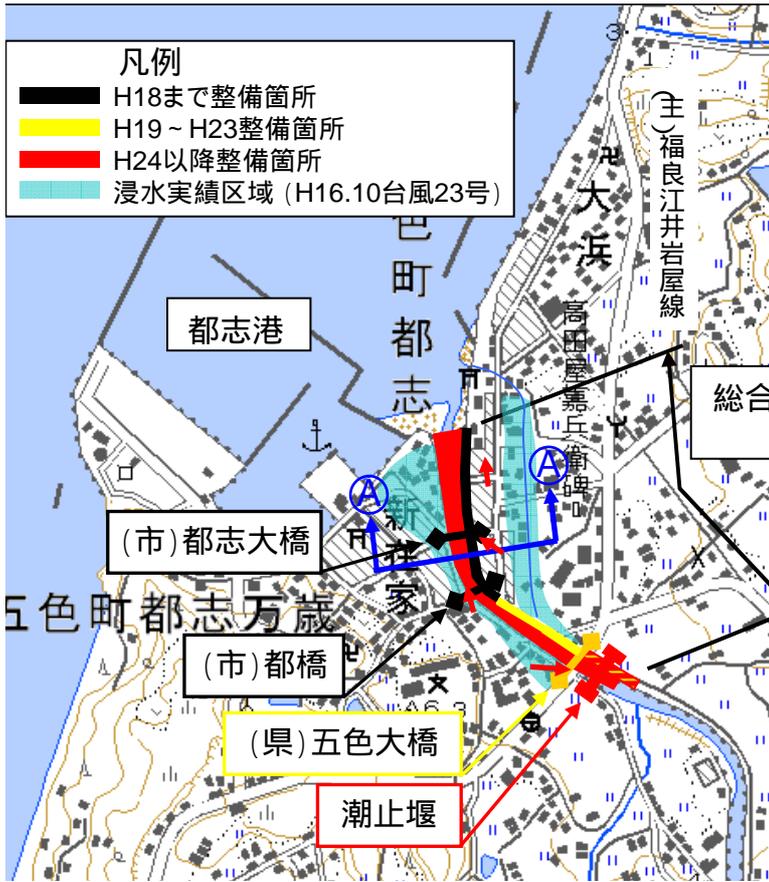
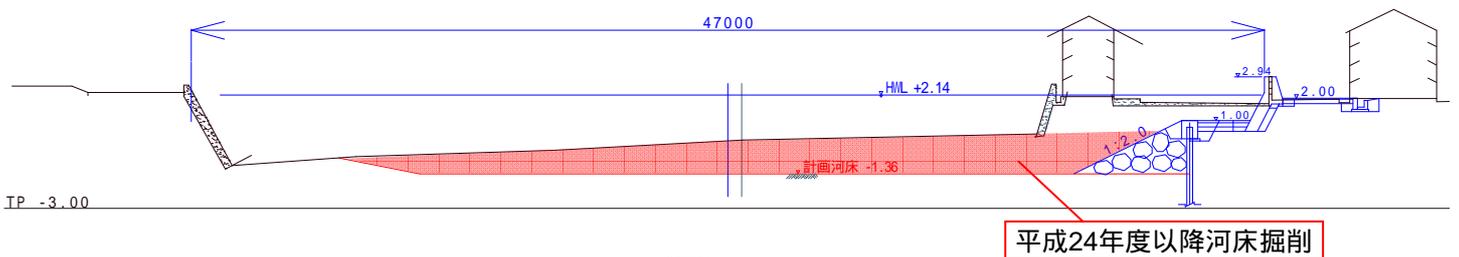


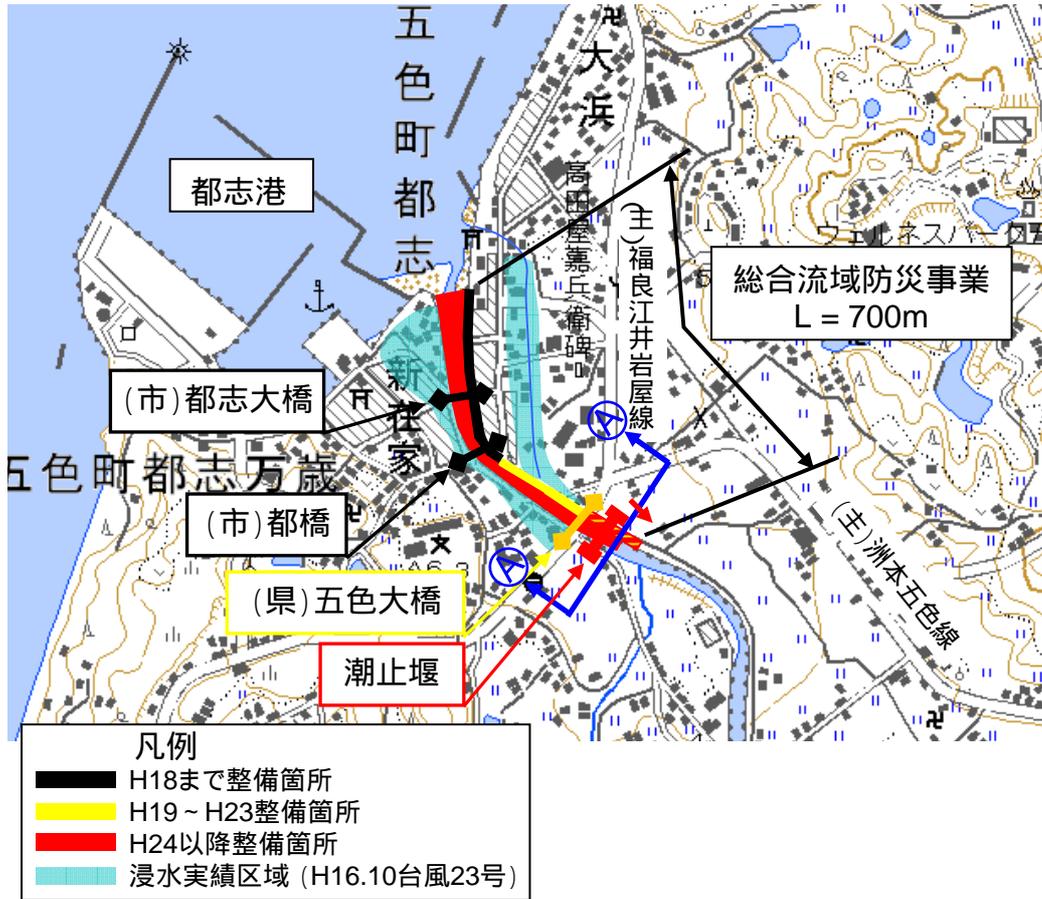
整備状況



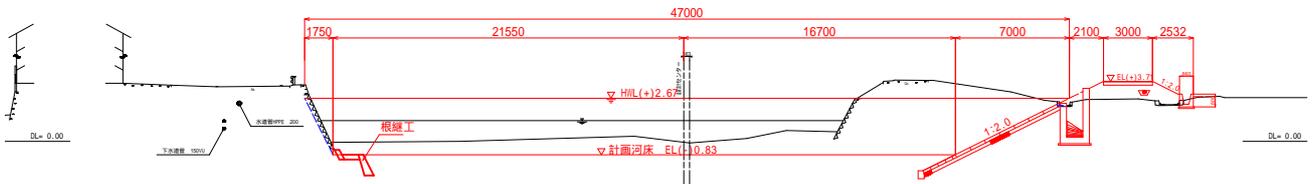
A-A 断面



未整備区間



A-A 断面



1. 実施工程表

	H19まで	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
用地買収	■	■	■	■	■					
掘削								■		■
護岸			■	■	■	■	■	■	■	
橋梁	■	■	■	■						
堰				■	■	■	■			

<凡例>	
■	当初計画
■	実施計画

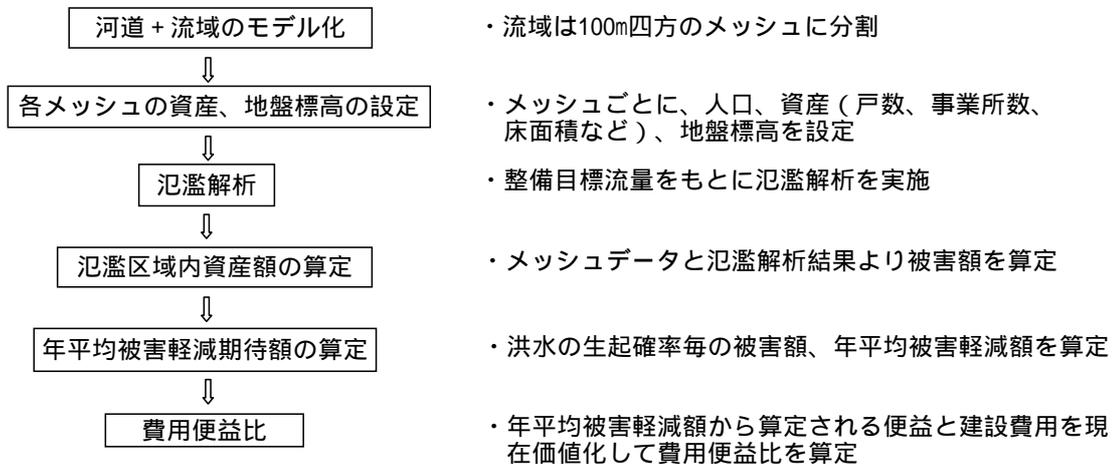
2. 事業効果について

(1) 費用対効果

便益(B)の項目

- 便益 = 治水事業を実施することによる被害軽減期待額を現在価値化
 被害額 = 一般資産被害（家屋、家庭用品、事業所償却資産、農漁家償却資産等）
 + 農産物被害 + 公共土木施設等被害 + 営業停止被害 + 応急対策費用
- 費用 = 「建設費 + 維持管理費 - 残存価値」を現在価値化

治水経済調査マニュアル（案） 建設省河川局 平成17年4月



費用便益比(B/C)算出根拠

便益 (B)		費用 (C)			B / C
総便益 (百万円)	代表的な効果	総費用 (百万円)	事業費 (百万円)	維持管理費 (百万円)	
10,429.4	計画規模の降雨に対して、 浸水戸数192戸、浸水面積31haの解消	4,525.5	4,043.5	482.0	2.3

(2) 費用対効果に含まれない効果

- ・生物の多様な生活環境の保全・再生・創出による魅力ある河川空間の創造
- ・潮止堰改築に伴い魚道を設置することによる河川連続性の確保
- ・矢板護岸前面に捨石工を施すことによる魚類や底生動物等の生息場の確保
- ・親水空間の整備による魅力ある河川空間の創造
- ・河道拡幅にあわせて散策路を整備することによる親水性の向上